

「大山町地域共創のまちづくり計画（案）」へのパブリックコメントの実施結果について

- 1 実施期間：令和8年6月3日から令和8年7月3日まで
- 2 意見及び提案者数：2名
- 3 意見及び提案件数：5件

「大山町地域共創のまちづくり計画（案）」への意見の対応区分

- A：計画案に反映されているもの
 B：意見を踏まえ、計画案を修正するもの
 C：意見として承ったもの

番号	意見項目	意見の内容	意見への本町の考え方	対応区分
1	施設利用と施設空間について	雨の日や夜・土日にすごせる場所というところに好感をもてました！ 3歳以上と3歳未満が一緒にすごせる（でかけられるところ）が少なく、一緒にでかけられるように支援センターが2部屋あると、ねんねの時期の子とうごきまわる子や、小さい子と少し大きくなると別れて使用できたりしてよいと思った。	本計画では、雨の日や休日でも多世代が安心して自由に過ごせる居場所づくりを目指しています。特に子育て支援スペース等は、乳幼児から大きな子どもまで安全・快適に利用できるよう、成長に応じた空間の切り分けを行います。すべての親子が安心して過ごせる空間構成に向け、いただいたご意見を今後の設計の参考にさせていただきます。	A
2	施設の備品について	カフェスペース、自習スペースなど、様々な人が利用するためにおもちゃや子どもいす、ベビーベッドなどがあるとうれしい。つえがかけられるいすやソファがあるとすごしやすい。	本計画では、多様な人が快適に過ごせる空間を想定しています。ご提案の備品は気兼ねなく滞在できる環境作りに重要であり、必要空間の検討においてユニバーサルデザイン備品を配慮事項として計画に反映します。	B
3	トイレ設備について	トイレに男女ともに子ども（あるかない子）の一緒に入れるトイレや手をあらうところに子どもをすわらせるいす、またせるところ（といれのベビーチェアのようなもの）があると嬉しい。	本計画では、多世代が快適にかつ安全に利用できる施設を目指しています。「バリアフリー・ジェンダーフリーなトイレ」の質を高めるため、いただいた具体的なアイデアを今後の設計へ活かしていきます。	A
4	施設空間について	3才以上が支援センターを利用できなくなっていたことを知って、おどろきました。 0才児をかかえて上の子を遊ばせられる場所が出来ると嬉しいです！ ちいさい子を気にせずに遊具で遊んだりはしりまわったり出来るスペースと、ゆっくりねんねできるスペースがあると良いなと思います！	本計画のキッズスペースでは、大小のエリアを分け安全面を確保します。ねんねの時期の子と動き回る幼児が互いに過ごせるような空間構成に向け、いただいたご意見をこれからの設計の参考にさせていただきます。	A
5	地域の多世代交流について	0才児をずっと抱っこしてるの大変なので、ちいきのおばあちゃんたち※とかと同じ空間で過ごせたりしたら理想… ※ちいきのおばあちゃんたち：子どもとかかわるのが好きな方に抱っこしてもらったり♡	いただいたご意見は、地域で応援しあい自然と交流が生まれるという本計画のコンセプトに合致します。温かい助け合いや「互いへのやさしさ」が生まれるコミュニティを今後の運営面から推進します。	A